

昭和41年10月号(通刊第164号)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市学校町一、県庁本館社会教育課分室内】

【電話・新潟(23)5511 内線691】

【振替 新潟 4094】

発行人 会長 吉津 勝栄

編集人 事務局長 本田 清

昭和41年10月15日発行(毎月1回15日発行)

【定価 1部18円 〒共・年版216円】

新潟県

公民館月報



第三回 主事幹事会



さる九月 日南蒲田上
公民館で県民館主事会が開かれた。和田幹
長(小千谷市人)が出席、「公館の運営は、
姿と今日的意義」に論じた。

県公連特別会員募集を承認

今日的指標各論を研究

職員名簿も年内に作成

さる九月九 いて勉強、今後も県公道の特別
日南町上村 委員会の結果などを参考にしてな
公民館、県公 が約十一月頃合宿研修をつとめ
民選主事会幹 として継続研究していくことによ
事会が開かれ なった。また年度中に公民館職
た。和田幹事 貢名簿を作成、各公民館に板布
長(小谷市) することになった。この日は、
以下二十八名 田上村勤務役、同小野館長を
が出席(公民 出席、主事会に列しそれぞれ
館のあるべき ぎまつりのことをあつた。

。このたびの「答論」はかなり具体的的目標示してあるが、従来、公民館を意義づけていた“住民サービス”といううとばかりなりり「上から与えられるもの」という感じがする。理論論的アドバルーンに終わらせず、「実行法則化」のための定がかりとすらなら意義を認める。

ために作られたのではなくかが、社会教育の一施設設立公会議で、公会議に対し公民館に専門施設だと述べてあるが、なにかいいわけがない。公民館をもうけめいている。公民館をもつと強く打ち出すべきである。この“今日的指標各論”は、全国民正会、町会、知事会等の人も講演書等を付して採用しないものはない。

開設、またスポーツ地域住民総参加をめぐる人会の開催等、多大な実績をあげている

議 評 回 第 二 三 案、同決算案、同四十一年度追加更正予算案など審議する第二回評議員会が、さる九月六日新潟市柳水閣で開かれたが、それぞれ原案どおり議決された。また既報のように主事会規則改正案が承認されたほか、全公連特別会員の募集については県公連の立場から改正して募集されることになった。出席者は吉津会長以下二十八名。当日の議決事項は次のとおり。

①昭和四十一年度公連一般収入減出追加更正予算案議定について
(昭和四十年度の県公民館人会の結果、事業費が事務費を奪い

（註）
（貯金）三百三十三万一千十五日
補助金五万円、特別補助金一
十万円、繰戻金六万一千六百六
十九円、雜收入四万二千五百八
十九円、計一百九二五万四千
七百七十三円）

(事務費八十二万三千九百三十円、事業費百九十八万二千九百円、負担金七万円、計一百八十七万五千八百三十三円、従つて次年度へ繰越金は七万八千四百四十三円となつた)

③昭和四十一年度公連一般歳入歳出追加修正予算案議定について(昭和四十一年度の県民館行額が三万六千六百三十九円超過したこと)また、「本会役員の旅費に関する規程」を改正した結果、当初予算総額三百十二万九千二百円のところ九万五百六十三円を追加し現額を三百二

八員の職員の旅費、旅行する区分による内閣園の旅費、旅行する区分以下の職務にある者の区分等に付した。

⑤全公連特別委員会について
(全公連特別委員は県公連の任において、その義務を果たす。改めて県公連特別委員(二)に一千円の賃金をする。)に付した。

⑥その他、佐野堀市中央公民館長から次のよもやな動議が提出され採択された。(教育問題全体への寄付金の免除とするうえ公連の名において全公連反映してもらいたい)

例五
十日から山口を出る第十五回全国公募の横山旭三郎氏(元館長・本会理事)が表彰される。本年の横山旭三郎氏が功績賞である。以下は横山氏の表彰式である。

40年度決算41年度更正予算

全国大会で表彰と顕彰

本県は 横山氏（加茂市公民館長）の両氏
本田氏（本会事務局長）

九千七百六十二円とし

本県は 横山氏（加茂市公民館長）の両氏
本田氏（本会事務局長）の両氏

本県の横山旭三郎氏（旭市公儀公会財團の編纂に參
・長官・本会理事）が後藤公氏たる重慶を糾弾を嘆して
（館職員）とて表彰され、本会事
務局長本田清氏が功労者として、本田氏の顕彰理由
頌揚される。以下は同氏の表彰

にもとづく「県公民館整備拡充方針」の実現に向けた取り組み、公連の関与した諸事業の推進等、公連の開拓した縁の下の力持ち的役割を果してきた。また新潟県公民館月報の編集人として昭和三十四年五月号(第十五号)から頃在(道立農業大學生会の開催等、多面的な活動を続けてきた。さらに青年、婦人団体の指導育成、明るく正しく運営を推進運動などにもすぐれ、いとまことに美績をあげてゐる。昭和三十一年。

お茶ノ子

22. 反射神經

ラフカ・カス



讀者

四十一

広報紙のご惠送を：

6

15

1

農業後繼者

原傳

本多田のり幸著　序文
くらの掲載になつてから早も
ので、今月で一年半にならうとし
てゐるが、今さらながら広報紙の
編集のむずかしさとその重要性
がようやく周で感じられるようい
なつた昨今である。われわれ弱小
な町村における、公民館職員の仕
事（北島惣之内町公民館主事）

自下全国的な講演として、機業してと私に断言。この教育は船内後継者教育が大きくなりあげられており、このために中学校、高校を中心として、あるいは中学生年を対象として、色々教育のアプローチが試みられているが、この年頃になつた。若人が登山、美しい服装を終るべきであると信じ、社会教育と小学校教育の一統・物化運営を計画し実行している。なかなか至難であるが、至難の中にのみあがめられた。美術は、その本質からして山小屋等に宿泊していくが、ズック、長靴等は我々だけ。旅登山等も、もつと気軽な服装で、それがCDHでも感蒙されねばならぬ」と北魚第一湯を谷中並べました。（北魚第一湯を谷中並べました）

尾瀬沼方面を旅して

反省期

田中豊治

を求めるにこの難しき事のみ五年
がら。(佐渡郡羽茂町々長、前陽
公達事務局長)

尾瀬沼方面

関公連大会に出席して

植村敬

ル、移動公民館など英の、附屬設置するはらしいものである。ここでは金町をへつの地域に分け、それをねん地区公民館と題しての講演では、「住民の自己の表現と発展の場を守るために、さらには各部若者、高齢者をもえなければ、眞の社会開発をなしき(三王の部著述)」これらいすらないと語られた。私はこれらも独立の建物で、終戸数が新築されながらの公民活動の山に過ぎないが、しかも部落顔のよさは一切が運営されている。

住民の手で作られ、住民の手で人に努力させる必要を強く感じた。

てみたい。
静岡市よりバス一時隔三十分
県の中南部、浜岡町が会場、こ
の町は土方村があつて誕生
し、浜岡市地域「春耕祭」は法
小笠農業経済團の指定を受け、
々に日が当たり、夢のもてる人
の町は、いろいろな面で参考
日本を武道との通じりを踏ま
るため、全職員と三役との話、
会いを両長主席で月、回を行な
つて今日に至っている。

参考者は県外へ八八県内一ブツづきを中心をねぎ、中央で七五、計三六一名、本県勢は他はリーダーの育成と研修、力を累に比して五五%という小数、住入れ、中間組織の研修の場から議の要求に応える「公会堂」のあるべき姿と今日的指標を見究めて、建設的政治に行政に反映め、その活動を盛んにするべくの方策を共同討議として、産んでいる。その結果、〇〇年に選振興と公民館、都市の機能と近いグループと、六二〇〇年公会堂と公民館、民間生活運動と公民館の発展が、結合して実現するを施設を中心としている。職員の研修についても、中央館、地区館選舉員の合同研修を毎週一と公民館について概要を記し、四月一日までの運営状況について

毎月第3日曜は
家庭の日

子古供の界

か
て
い
か
い
ぎ

直江津市古城小学校二年

いわせよしれ

県公連では、第一回評議員会の議定により、県公連特別委員會の編成を行なつておりますが、このたび積極的な御理解と御支援を以り、特別委員十七名の中込がありまし、た舞弊の趣旨を生かしながら、ます県公連の充実癡展に努力してまいりたいと思ひます。

縣公連
特別會員

運審委も積極的な申込

東公連特別會員名（敬称略）	八日板靜志（長岡市中央公民館運営審議委員）
。佐野木五郎（長岡市中央公民館運営審議委員）	。
長）	。
。高橋友一郎（三五公民館連合会常務議長）	。
。金長）	。
。鷲藤士巒（中魚沼郡中里村公民館長）	。
。鷲藤士巒（中魚沼郡中里村公民館長）	。
。鷲藤士巒（中魚沼郡津原町公民館長）	。
。大滝周（長岡市中央公民館運営審議委員）	。
。安藤秀綱（長岡市中央公民館運営審議委員）	。
。渡辺ヘリ（長岡市中央公民館運営審議委員）	。

。諸橋志三郎（長岡市中央公民館
運営審議員）
。清水六太郎（長岡市上川町公民
館長）
。水路富作（長岡市下日出公民館
長）
。森山重三郎（長岡市太田公民館
長）
。松本盛之（長岡市宮本公民館
長）
。山田千代松（長岡市原原公民館
長）

しへから来たが
そくしまして
は、たぐまち
とうさんじゆめを
よし子にしよ
だかのふわふ
ゆくは、「こ
ました。わわ
たんじとをよ
まみのうきが
ひらことね
しあいたいと
とうさんじゆ

「ううん、おまえの心がいいんだから、おまえの心を守るために、おまえの心をもつて生きるんだよ。」
「ううん、おまえの心がいいんだから、おまえの心を守るために、おまえの心をもつて生きるんだよ。」

水市興津
津町 東海道
水@○○四〇〇
②生活学級
沾学級
②二二八九一
王狩 東海道
泉町公民館

本線興津駅
①各種成績
②グループ
駿東郡長
本線三島駅
名種成人学
したるのども
の口の眞琴
しましま

月分をひ見くると
ますか。い上げま
本山豊彦事務局はす。事務局はす。事務局はす。
の山野先生りぞい
れました

しまっしう。これからみたまのい
けんをきめます。まち「よしき」
じぶわれ、「まくはる」「おひさし」
ねも「もうすこしわかだにね
じつだいをしやること。そして
いつせいかとんをしておがさん
にねてつだいをしてやること。そ
してつあせどんをしや。」わか
あきんにゆくをかけなうこと
と。」といひました。おひさし
は、ほくのひだとをへーんに
かきながら、「やあ。」といひな
がらあたまをがいていました。(つ
け)「おあきん」とひだお
かあひばは、おとうさんとよし
かじりへとゆすること。じぶわ
じぶわらじするなど「ぬるぬる」
とおとうさんは日本をあわせてもぐ
をきめのめました。「それからよし
まき、学校のかえりはみのいをき
しほじはやくがえりいやしゃじ
いてくること。つまよあやむるわ
おとしかくをすること。おはなわ
やんのわで、はまののやかは
んせせどんをすること。じぶわ

「じぶんでもね、すぐに
は、すぐには
じぶんしゃに
きをくをま
や
おかげで
なごよくな
「へたつ」がわ
きあわな
とがあるの
い。じょよ
した。おかげ
ら、おとうさ
れども

「へんじをつけて、おまかせください。」
「へんじをつけて、おまかせください。」

施設	宇布	郡雄	吉原	人講	・書	ル	各種
いたよ らいなが ました。	らいま いのないこ くべきだき	うきん をかけ さい。」	あんの のないこ	じうつう れいだんと れいだん。	うとう うとう うとう	うとう うとう うとう	うとう うとう うとう

近県
九月
東海道 浜岡町

本線渓水館
原公民館 漢
級
合社会教育
本線渓水館
原公民館 漢
級
合社会教育

がわすか二日間ほどで渡航手続を事務引きつきで手んこわんやのにい思ひないだまし。ことに金剛大学も形市で本校からの参加者が六名もあるからうので張り切つていたのですが、出発できなくなつたのが幾々です。るすは一切笠原さんが守ってくれねばずですし、本紙の編集も十一月号は、各編集委員が、手により家かけられたことになりました。準備期間がわすか二日間ほどで渡航手続を事務引きつきで手んこわんやのにい思ひないだまし。ことに金剛大学も形市で本校からの参加者が六名もあるからうので張り切つていたのですが、出発できなくなつたのが幾々です。るすは一切笠原さんが守ってくれねばずですし、本紙の編集も十一月号は、各編集委員が、手により家かけ

優良公民館

(記載は館名、所在
下連続、電話、寺
院)



あとがき

ひょんな事ながら約二ヶ月間、エジプトへ観光旅行に行つたことがあります。滞在期間がわざわざ一ヶ月間ほどで、渡航手続きと事務引受けをするやうに山形市で本県からの参加者が六十名もあるて、いろいろと強引な切符などをですが、田舎でできなんかないのが殘念です。まずは一切笠原さんが手てくれるは必ずし、本紙の編集も十一月には、各編集委員が手によじをぬけて発行してくれるそうです。九月、十月とせいか田舎の方見くるしいい文章が少くなかれ思ひますが、どうか御理解のほど願ひ上げます。
（本）

X X X

本山事務局のない、県公連りでいます。事務手続きが遅れましたらお許しください。

